

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。この結果をもとに本校でも指導の在り方を振り返り、今後の改善を図ります。

1 教科結果

平均正答率	国語	算数	理科
本校	69	51	57
広島県	69	59	59
全国	66.8	58.0	57.1

2 教科における課題とこれからの取り組み

国語

概ねよくできていました。ただし、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付け、文章に表すこと」「語彙の理解」については、課題が見られました。

そこで条件に合わせた文章を書く学習をするとともに、何を問われているのか明らかにしてから問題を解くように指導していきます。また、普段の授業から結論先行型で自分の考えを言ったり書いたりするよう指導をしていきます。そして、学力補充の時間や家庭学習では、言葉の意味や使い方に関する問題に取り組ませ、語彙力の高まりを目指します。

算数

「数直線上に示された数を分数で書くこと」「作図や図形の定義の理解」について課題が見られました。

そこで、数直線を見る際には基準となる1のめもりに注目させ、実際の数と数直線を繋げて考えることができるようにしていきます。また、数直線を用いて友達に説明する場も多く取り入れます。作図や図形の定義については、既習内容を学力補充の時間等で復習をしたり、生活場面と繋げたりして、定着を図ります。

理科

「金属の性質」と「磁力」の理解について課題が見られました。

そこで、実験をする際には予想を一人一人に立てさせ、実験結果と自らの予想を比較・検証させることで、理解を深めることができるようにしていきます。また、金属や磁力等の目に見えない事象を取り扱う際には図に表して説明させるなどして、イメージをしっかりとつことができるように指導をしていきます。

3 生活と学習に関する調査とこれからの取り組み

全員がICTを活用して学習したり情報を発信したりすることについて概ね自信を感じています。また、分からないことや詳しく知りたいことについて、自分で学び方を考えて工夫することができると感じている児童も100%でした。

一方で、読書に苦手意識を感じている児童がいるとともに、新聞に馴染みが薄い児童が多い傾向にありました。そのため、継続して家庭学習等で読書に取り組ませたり、新聞を授業や家庭学習で活用させたりします。また、家庭とも連携を図り、家庭で読書に親しむことができるような取り組みを進めていきます。